

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 緩和医療における歯科医療従事者の育成事業(緩和ケア研修会)</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人神奈川県歯科医師会 会長 鈴木 駿介</p>
<p>3. 実施組織： 一般社団法人神奈川県歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要： がん医科歯科連携の推進の必要性は認知され、その連携について具体的な事業展開が行われているが、十分とは言えない。特に緩和医療、がんと告知された時点から始まる緩和医療、また従来の意味での終末期緩和医療における歯科医療の果たすべき役割については、いまだ理解がされていない。この事業により、歯科医療従事者が緩和医療の実際を学び、緩和医療における歯科医療の役割を認識し実践する人材の育成を目的とする。今後、地域包括ケアシステムを構築する上で、緩和医療を理解した歯科医療従事者は、がん患者や在宅におけるがん患者（終末期も含む）への対応の向上が期待できる。 前年度、貴財団の助成を受け、報告書提出にあるように継続事業の1年目として本事業を実施した。本年度も継続実施することにより、緩和医療学会講師とともに、歯科医師に必要な緩和研修のあり方をさらに検討するとともに、より多くの会員が緩和医療における歯科医療の役割を認識し実践する人材となることが期待できる。</p>
<p>5. 事業の内容： 開催日時：平成 30 年 3 月 4 日(日)8:20~16:40、同 11 日(日)9:00~18:00 開催場所：神奈川県歯科医師会館 501・502 研修室 対 象：神奈川県歯科医師会会員・神奈川県歯科医師会会員診療所の歯科衛生士 定 員：26 名(歯科医師 19 名、歯科衛生士 7 名) 講 師：緩和ケアに携わる医師・歯科医師のべ 18 名 内 容：講義・ワークショップ・ロールプレイ 緩和ケアにおいて、安全で質の高い歯科医療を提供するための人材を育成するため、日本緩和医療学会に協力を得て PEACE PROJECT を活用した研修会を開催した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：歯科医療従事者に限定した緩和ケア研修会実施に理解を示してくれた経験豊富な緩和医療従事者の指導のもと、がん患者の緩和医療の課題を歯科医療従事者が研修できたことはとても有意義であった。また既定の緩和研修会のプログラムに加え、昨年の反省をもとに基本的ながん治療の知識もまじえ、歯科医療従事者が理解しやすい研修を実施できた。グループワークでは歯科医療従事者にとり身近な口腔がんも症例に追加し活発な意見交換が行われ、ロールプレイも含め、受講者またファシリテーターからも高い評価を得た。今後の課題として、平成 30 年度より緩和研修会の運営の大幅な変更にともない、今回のような歯科医療従事者を対象とした緩和ケア研修会運営の仕方について検証していきたい。周術期や在宅診療において歯科医療従事者の果たす役割の重要性を再認識し、継続開催の必要性を感じた。</p>

